令和7年度 神浦小学校「学力向上プラン」全体計画

【学校教育目標】学ぶことの喜びを実感できる子どもの育成 ~やさしく・かしこく・たくましく~



【育てたい学力】

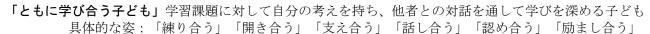
○読解力

○問題解決力

○表現力

○情報活用能力

○各教科での学びを実生活に活用できる力



「主体的に学ぶ子ども」学ぶ楽しさを味わい、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返り、 次につなげる子ども



○図書館司○読書タス

イム 司 書

す

読書 科

0

推

奨、

電子書 料

籍

 \mathcal{O}

活用

を連携、の推進、

各 き

での

図書資

活

教間

【重点目標】令和8年度各種学力調査において次の数値目標を設定する。 知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力において到達率90%以上

【めざす授業】○わかる・できる授業の実践 ○全ての児童が生き生きと学ぶ授業づくり

【学力向上を図る学習指導】

- ○市・県・全国学力調査の結果分析、考察
 - ・各学年重点単元を設定し、指導にあたる。
- ○「めあて」と「まとめ」を意識した学習指導
 - あじさいスタンダードに沿った授業づくり
- ○わかる授業の実践
 - ノート指導→自分の考えやまとめを書く活動
 - ・発展的、補充的学習(キュビナの活用)
 - ・課題解決的・自力解決的な学習
 - →児童の自力解決のモデルとなる授業を仕組む
 - ・確実に文章の内容を読み取るため手立て →アンダーラインやマーカーを使う
- ○計算・漢字等、基礎・基本の確実な習得
 - ・音読練習(国語や算数などの教材文・詩)
 - ・加減乗除の計算の反復練習 (プリントの活用)
- ○ICT の活用
 - ・デジタル教科書や視聴覚教材の活用
 - ・Chromebook の効果的な使用
 - ・情報収集活用スキルの向上とネチケット指導
- ○学習規律の徹底
 - ・用具の準備や心構えの指導(そろえる)
 - ・相手意識や目的意識をもった聞き方や話し方の

【学力定着を図る場の設定】

- ○個に応じた学習指導の充実
 - ・個別指導の充実
 - 放課後学習の充実
 - ・ステップアップタイム(1~3年生)
- ○漢字・計算・読書等の継続的学習
- ・神浦タイム、読書タイムでの取組
- ○語彙力を増やす場の設定
 - ・日記指導
 - ・国語辞典・漢字辞典の活用
- ○表現力を高める場の設定
 - 対話の場を仕組む
 - 集会等での感想発表
 - ・下校の際の代表スピーチ
 - ・学んだことを教育活動に生かす
 - 暗唱タイム
- ○役割を分担した話合いの場の設定
 - · 代表委員会 · 国語科
 - ・総合的な学習の時間・道徳の時間
- ○生活リズムの定着
 - 生活リズムチェック(年3回)
 - ・生活アンケートと個人面談(毎月)
 - ·長期休業後公個人面談(年3回)

【評価の仕方と評価を生かす指導の改善】

- ○評価規準に基づいた評価の実施(目標と指導と評価の一体化)
- ○単元終末・学期末・学年末における学力定着テスト
- ○評価結果の分析、指導の改善

【本校教職員の指導力向上のための研修】

- ○校内研修のテーマに基づいた授業を実践し、授業力向上ならびに児童の学力向上に努める。
- ○基礎学力を確かに身に付けさせる実践的指導法の研修
- ○研究発表会、各種研修会への主体的な参加、研修内容の報告
- ○複式カリキュラム作成



【評価結果・改善策等の公開】

○学校・学年・学級通信(学習のねらいや内容・評価等)

○保護者懇談会

○学校関係者評価会

放 ・ 「ごナを活、 ・ 「こナを活、 ・ にないでは、学で、 ・ の習慣化→家屋 個放学課 が課後学習は の習慣の 放課 放年と 発 と 学 シ連携、『 (3回以上)□→日常的にを目標にして 『家庭 家 庭で して取り組(放課後) の 学習や 長期休業中に 組 学童での学習を意味します。 む 学習の手引き』の配付と情報交換

復習





